製品安全データシート

1．化学物質及び会社情報

会　社　名　　石原産業株式会社
住　　所　　大阪市西区江戸堀１丁目３番１５号
担当部門　　三重県四日市市石原町１番地
石原産業株式会社環境・安全衛生統括部
電話 059-345-6205 FAX 059-345-6206
緊急連絡先　　石原産業株式会社四日市工場
有機生産部ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ生産技術グループ
電話 059-345-6118 FAX 059-345-6180

作　　成　　平成　7年　9月　5日
改　　訂　　平成２２年１２月　６日⑥

整　理　番　号　　Ａ－１０３０

製　　品　　名　　粒状水中ＭＣＰ「石原」

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性：

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性：

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分５
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分１（呼吸器）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分１（呼吸器，腎臓）
吸引性呼吸器有害性	分類対象外
環境に対する有害性：	
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：　健康有害性



注意喚起語：　危険

危険有害性情報：
皮膚に接触すると有害のおそれ
発がんのおそれ
呼吸器系の障害
長期ないし反復暴露による呼吸器系または腎臓の障害

注意書き：

【安全対策】
安全対策については、「７．取扱い及び保管上の注意」、「８．暴露防止及び保護措置」を参照。
取扱は、局所換気設備のある場所で取扱うこと。
密閉した設備で取扱うこと。
皮膚、眼等への接触を避けること。
取扱場所に、関係者以外の立入を禁止すること。
取扱は、保護具を着用して行うこと。

【応急措置】
応急処置については、「４．応急措置」、「５．火災時の措置」を参照。
目に入った場合、直ちに清浄な水で最低 15 分間眼を洗浄したのち、直ちに眼科医の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、直ちに石鹸で十分洗浄を実施し、もし皮膚に炎症が生じた場合は医師の手当てを受けること。
吸入した場合、直ちに新鮮な空気の場所に移し、暖かく安静にし、異常が有れば医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合、水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診察を受けること。
小さな火災の場合は、水・粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行うこと。
大規模火災の場合は、水，泡消火剤を用いて空気を遮断すること。
消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない、有害ガスの吸入を避けること。

【保管】
保管については、「７．取扱い及び保管上の注意」を参照。
吸湿しないように、密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当らない冷涼な場所に保管する。

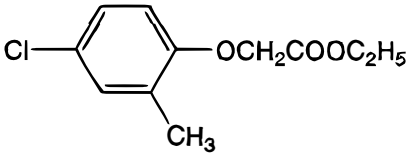
【廃棄】
廃棄については、「１３．廃棄上の注意」を参照。

焼却時、有害ガス（HCl 等）が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理すること。

3．組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混　合　物

成分及び含有量

一　般　名	ＭＣＰエチル	鉱物性粉末等	
化　学　名	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル	シリカ	—
構　造　式		SiO_2	ノウハウのため非公開
含有量　％	１．２％	１９．５～３８．９％	５９．９～７９．３％
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に規制される物質	(1)-548	ノウハウのため非公開
官報公示整理番号 安衛法	4-(7)-355	公表	ノウハウのため非公開
ＣＡＳ　Ｎｏ．	2698-38-6	14808-60-7	ノウハウのため非公開

4．応急措置

目に入った場合　：直ちに清浄な水で最低15分間眼を洗浄したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに石鹸で十分洗浄を実施し、もし皮膚に炎症が生じた場合は医師の手当てを受ける。

吸入した場 合　：直ちに新鮮な空気の場所に移し、暖かく安静にし、異常が有れば医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合　：水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。

5．火災時の措置

消　火　方　法　：小さな火災の場合は、水・粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行うこと。
大規模火災の場合は、水，泡消火剤を用いて空気を遮断すること。
消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない、有害ガスの吸入を避けること。

消　　火　　剤　：水・粉末・炭酸ガス・泡消火器

6．漏出時の措置

保護具を着用した上で、溢れた粒剤をスコップ、箒、掃除機を用いて回収する。多量の場合は、風下の人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外は立入を禁止する。
公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。

7．取扱い及び保管上の注意

取 扱 い の 注 意　：取扱は、局所換気設備のある場所で取扱う。
密閉した設備で取扱う。
皮膚、眼等への接触を避ける。
取扱い場所に関係者以外の立入を禁止する。
取扱は、保護具を着用して行う。

保 管 上 の 注 意　：吸湿しないように、密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当らない冷涼な場所に

保管する。

8．暴露防止及び保管措置

管　理　濃　度　：吸入粉塵　3.0/(0.59Q＋1) mg/m³　(Q＝粉塵中遊離珪酸(%))
許　容　濃　度　：日本産業衛生学会吸入性結晶性シリカ 0.03mg/m³ (2007 年版)
設　備　対　策　：局所排気装置の備わった場所で取扱う。
保　護　具　：呼吸用保護具　有機ガス用マスク・エアーライン・空気呼吸器・防塵マスク
保 護 眼 鏡　ゴーグル
保 護 手 袋　ゴム手袋・ビニール手袋
保 護 衣　ビニール合羽

9．物理的及び化学的性質

外　観　等　：類白色細粒
沸　　点　：なし
融　　点　：なし
比　　重　：データなし
溶　解　度　：データなし (MCP エチル原体の水溶解度は 20℃：66mg/L)

10．安定性及び反応性

引　火　点　：なし
発　火　点　：データなし
爆 発 限 界　：なし
可　燃　性　：なし
発火性（自然発火性，水との反応性）：なし
酸　化　性　：データなし
自己反応性・爆発性　：なし
粉 塵 爆 発 性　：なし
安 定 性・反 応 性　：通常の条件において安定

11．有害性情報

急　性　毒　性　：経口　LD_{50} >5000mg/kg(ラット)
経皮　LD_{50} >2000mg/kg(ラット)
吸入　データなし
刺激性（皮膚，眼）　：眼　刺激性なし(ウサギ)
皮膚　刺激性なし(ウサギ)
感　作　性　：皮膚感作性なし(モルモット)
変　異　原　性　：製剤品としてのデータなし。MCPエチルには変異原性なし。
発　が　ん　性　：製剤品としてのデータはないが、シリカ（区分1A）を19.5～38.9%含むことから、区分1Aとした。
生　殖　毒　性　：データなし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：　製剤品としてのデータはないが、シリカ(区分1：呼吸器系)を19.5～38.9%含むことから、区分1：呼吸器系とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：　製剤品としてのデータはないが、シリカ(区分1：呼吸器系，腎臓)を19.5～38.9%含むことから、区分1：呼吸器系，腎臓とした。
吸入呼吸器官作性　：データなし

12．環境影響情報

分　解　性　：データなし
蓄　積　性　：データなし

水生環境急性有害性 ： コイ　　LC_{50} 250 mg/L(96 時間)
オオミジンコ　EC_{50} >1000 mg/L(48 時間)
藻類　　EbC_{50} 526 mg/L(72 時間, Pseudokirchneriella subcapitata)
水生環境慢性有害性 ： MCP エチルは区分外。
本混合物の 98.8%は水生環境有害性が不明である。

１３．廃棄上の注意

焼却処分 ： 焼却時、有害ガス (HCl 等) が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。
空容器 ： 内容物を使い切った後、適切に処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制
- 国連番号 ： 非該当
- 国連分類 ： 非該当
- 品名 ： 非該当
- 容器等級 ： 非該当
- 海上規制情報 ： 非該当
- 海洋汚染物質 ： 非該当
- 航空規制情報 ： 非該当

国内規制
- 陸上規制情報 ： 非該当
- 海上規制情報 ： 非該当
- 航空規制情報 ： 非該当

安全対策
定められた密閉の容器に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよう積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。

１５．適用法令

農薬取締法 ： 農薬登録番号　第 4144 号
労働安全衛生法 ： 粉塵則
第５７条の２（通知対象物質）　シリカ（第 312 号）
ＰＲＴＲ法 ： 第一種指定化学物質　該当しない
第二種指定化学物質　該当しない
＊ MCP エチルは PRTR 法の指定化学物質に該当しませんが、MCP 酸は第一種指定化学物質（第 130 号）に該当します。本製品は 2,4-PA に換算すると含有量 1.1%となります。

１６．その他の情報

最新除草剤解説　（企画・編集　財団法人　日本植物調節剤研究協会）
石原の農薬（石原産業株式会社）

記載内容の取り扱い

記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
記載内容は情報提供であって、保証されるものではありません。
